

ナースとして世界で活躍する

善意の押しつけではない支援を 目指し、知識と経験を重ねていく

AMDA 石岡未和さん



途上国での地域医療に興味をもつようになったのは、集中治療室で働いていた頃。その思いを実現しようと青年海外協力隊に参加し、ここで国際保健と出会いました。その後、2010年3月にAMDAのチリ地震津波緊急救援チームの一員として派遣され、5月からAMDAに所属して本部の事業担当に。現在、主に中南米の活動を担当しています。ハイチ地震復興支援

事業（義足支援とスポーツ親善交流）で、現地駐在員の後方支援に携わるかたわら、国外で災害発生時には看護師として現場へ行くこともあります。

私たちの活動は、人と人の助け合いで成り立っていると強く感じます。AMDAは、「困ったときはお互いさま」をモットーに、相互扶助の精神を大切にしていきます。海外での活動は現地のイニシアチブを大切にし

ています。緊急救援と聞けば助けに行く要素が強くなるかもしれません。しかし、私たちは現地スタッフがいなければ意味のある活動はできません。それから、活動には語学や交渉力、世界情勢など、看護師以外の知識が必要です。また、ときに添乗員になり、先生になり、営業ウーマンになり、と、「なんでも屋」であることも大切です。

AMDAに参加して、日本と世界をもっと知りたいという気持ちが強くなりました。感情的にならず、善意の押しつけにならない支援をするには豊富な知識とアイデアが必要です。経

験が度胸と冷静な判断力を養いますが、知識がなければ次につながらない。経験と知識がミックスされてこそ、いい活動ができると思います。それから、生きかたがシンプルになりました。

看護師としての今後を考えるうえで、自分の枠を自分で決めないように、自分が好きなことに真摯（しんし）に取り組んでみてはどうでしょうか。具体的に動けば何かが必要についてくるはずですよ。私も、自分を自由にするために、自分の可能性を広げるために、これからも学んでいきたいと思っています。

いしおか・みわ/子どものころから海外で働くことに憧れ、「手に職を」との思いから看護師に。外科病棟や集中治療室で7年間勤務した後、2007年、青年海外協力隊に参加し、ドミニカで地域保健サービス強化プロジェクトに携わる。2010年からAMDAに参加。主に中南米の活動を担当する。

特定非営利活動法人アムダ (AMDA)

相互扶助の精神に基づき、災害や紛争発生時、医療・保健衛生分野を中心に緊急人道支援活動を行う。世界30カ国に支部をもつ。

〒700-0013 岡山市北区伊福町3-31-1 ☎086-252-7700
E-mail member@amda.or.jp URL <http://amda.or.jp/>